

研究課題番号	4-2101
研究課題名	生殖細胞を活用した絶滅危惧野生動物の生息域外保全
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	村山美穂

1. 委員の指摘及び提言概要

本研究課題は、絶滅危惧種であるツシマヤマネコおよびヤンバルクイナの域内保全技術としてゲノム、ホルモン、行動データ、死体や保護した個体からの生殖細胞をもとに、生殖保存技術の確立を目指したものであり、目標を上回る成果を上げたことが評価できる。個体群存続可能性分析、DNAメチル化率にもとづく年齢推定、繁殖に関わるホルモンなど、環境行政ですぐにでも利用できる技術が蓄積されたのは素晴らしいと思う。高度な研究内容をわかりやすく解説し、啓発活動が実施出来たことで、種の絶滅問題など、生物多様性保全に関わる行政に対する強力な支援になると考える。今後、実際に野生復帰事業への積極的な貢献を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S